

## 質疑応答（要旨）

### Q. 新型コロナウイルスワクチンの保管は行わないのでしょうか

- A. ー 国土交通省から日本冷蔵倉庫協会を通じて、-60℃～-90℃の保管が可能な冷蔵倉庫があるか問い合わせがありました。当社は最低-60℃で保管が可能な冷蔵倉庫を1か所保有していますが、既に保管している食品と一緒に保管することは難しいと思います。
- 当社としてもお役に立ちたい気持ちはありますが、この条件でワクチンを保管することは、物理的に難しいと思います。

### Q. 連結子会社合併の効果は出ていますか？

- A. ー 合併の効果は出ています。在庫の圧縮が進んだためリスクコントロールが進み、組織改編によってグループの意思決定も早くなり、情報の共有が進んでいます。
- また、中計資料 28 ページに記載した A S I A N-C プロジェクトを立ち上げ、連携と情報の共有により大きな効果が出てきています。
- コロナ禍の状況下ではありますが、想定よりもいいスタートが切れていると思います。

### Q. 今後 10 年で、E コマース等様々な変化があると思います。冷蔵倉庫のネットワークなどの強みを活かした新たな事業モデルへのチャレンジの可能性はあるのでしょうか

- A. ー 当社の全国ネットワークを活かし、例えば高回転する人気商品は在庫型貨物として保管しつつ、通過型貨物の取り込みやネット販売商品の保管取扱いなど、拡大する中食・冷食需要とあわせて取り込んでいきます。
- また、コロナ禍の中で、E コマースへの注目はかなり高くなっていると思います。今すぐにスタートすることは難しいと思いますが、中計資料（19 ページ）に記載のとおり新しい取り組みとしてチャレンジを行う予定です。

### Q. 養殖事業への新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたか

- A. ー ノルウェーのトラウト養殖事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で空輸便を飛ばすことが出来ず、主要な販売先である米国向けを含めフレッシュ製品の出荷が停止しました。
- 結果、鮭鱒の相場も下落し、影響を受けています。

### Q. 新・中計（第 I 期）で冷蔵倉庫建設を予定している場所と規模を教えてください

- A. ー 詳細はお答えできませんが、関東及び北海道で冷蔵倉庫を建設予定です。

### Q. 働きがいを感じている従業員は、現時点で何パーセントいますか？

- A. ー 現時点でお出しできるデータはありませんが、今後定期的にアンケートを実施する予定です。
- 労働安全衛生を含め、社員にとって働きやすい環境を整え、働きがい向上を目指してまいります。

### Q. 中計 3 年間におけるフリーキャッシュフローの見通しを教えてください。積極的な投資を予定していますが、負債での調達で対応できるのでしょうか

- A. ー 減価償却が毎年 60 億円単位、営業利益等も見込んでいるので、大半を賄うことが出来ると思います。
- 不足については負債での調達になると思います。

**Q. コロナ禍における勤務体制について教えてください**

A. ー 販売、管理部門は出来る限りテレワークを推奨し、時差出勤を含めて実施しています。どうしても出勤しなければならない場合は各自対策を取って出勤しています。

冷蔵事業部門は食を支えるインフラであり、絶対に止めることが出来ない設備であるため、出来る限りの対策を実施して稼働しています。各事業所単位でもそれぞれ工夫をして対策を行っており、本部からの指示を実施するだけでなく、独自の対策を実施していた事業所もあります。

そのためか、現在までのところ（11/27 時点）で感染者は発生していません。